第 31 回 支部総会資料

2023 年 5 月 19 日（金）

公益社団法人 日本コンクリート工学会

近　畿　支　部

目 次

1. 2022 年度 事業報告および収支決算について …… 1

2. 2023 年度 事業計画および収支予算について …… 8

3. 支部執行部の体制について …… 11

4. 2022 年度表彰について …… 13

5. 業務委託契約更新について …… 14

6. 支部会員数の推移について …… 18

7. 本部からの報告について …… 19

1.　2022 年度 事業報告および収支決算について

事　業　報　告

（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

新型コロナウイルス感染症の感染および拡大防止から支部会員を対象に計画していた支部総会、特別講演は会場＋Web のハイブリッド形式で開催したほか、夏休みの自由研究お助け企画をオンライン企画として開催した。また、支部執行委員会、総務委員会、広報行事委員会、調査研究委員会はいずれもオンラインによって委員会を開催し、このような状況下での新たな生活様式に合致した支部の事業の進め方等に関して議論を行ってきた。

(1) 執行委員会

1) 第 1 回

開 催 日：2022 年 5 月 16 日（月）

場　　所：大阪科学技術センター8F　中ホール（対面）および Zoom（Web）

出 席 者：47 名

主な内容：2021 年度収支決算、内部監査報告、支部総会資料 他

2) 第 2 回

開 催 日：2022 年 7 月 22 日（金）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：44 名

主な内容：支部総会開催の報告、2022 年度事業計画の進め方、代議員の支部推薦候補者の選定、奨励賞の募集 他

3) 第 3 回

開 催 日：2022 年 12 月 21 日（水）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：43 名

主な内容：支部執行部候補者推薦委員会の体制変更と新体制、執行部改選候補者案および任期、顧問の新任および再任、支部 30 周年記念行事 他

4) 第 4 回

開 催 日：2023 年 2 月 27 日（月）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：45 名

主な内容：支部執行委員の選定、支部奨励賞の選考、事業計画および収支予算 支部総会　他

(2) 支部幹部・顧問合同会議

開 催 日：2022 年 12 月 9 日（金）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：12 名

主な内容：支部執行部体制、3 委員会の体制 他

(3) 支部総会

開 催 日：2022 年 5 月 16 日（月）

場　　所：大阪科学技術センター8F　中ホール（対面）および Zoom（Web）

※ 支部総会資料は支部ホームページに掲載

(4) 支部奨励賞表彰式

開 催 日：2022 年 5 月 16 日（月）支部総会後

場　　所：大阪科学技術センター8F　中ホール（対面）および Zoom（Web）

※ 奨励賞の受賞者 4 名に賞状と記念品を授与（応募者 8 名）

(5) 講演会およびセミナー

1) 特別講演会

日　　時：2022 年 5 月 16 日（月）

場　　所：大阪科学技術センター8F　中ホール（対面）および Zoom（Web）

講演題目：「うめきた（大阪）地下駅建設工事における温度ひび割れ抑制の取り組み」

講 演 者：藤岡　慶祐 氏（西日本旅客鉄道㈱　建設工事部）

2) 夏休みの自由研究お助け企画（オンライン企画）「コンクリートっておもしろい」の実施

・質問・意見受付　～8 月 26 日(金)

・作品応募受付　　～9 月 30 日(金)

・優秀作品の表彰　1 件

(6) 見学会

1) 会員対象現場見学会

日　　時：2022 年 11 月 8 日（火）13：20～17：00

見学場所：百石斎、琵琶湖疏水記念館、日ノ岡第 11 号橋の 3 箇所

参加者数：14 名

2) 市民（親子）対象現場見学会

新型コロナウイルス感染症を考慮して、開催を断念

(7) 研究専門委員会等

1) コンクリート試験の省力化に関する検討委員会（2018年度公募）

委 員 長：武田　宇浦（明石工業高等専門学校）

活動期間：2019年度～2021年度の3年間（2021年度は延長期間、2022年度は報告会を実施）

委 員 数：25名
幹 事 会：2022年 9月30日　　6名出席
2022年11月21日　　8名出席
2023年 1月23日　　7名出席　報告書原稿最終確認
委 員 会：2022年 5月 9日　　22名出席
2022年12月 5日　　17名出席
ＷＧ活 動：WG-C；2022年　7月11日(月)14：00～15：30
意見交換会の実施（ハイブリッド）
各WG　；報告書を査読（2022年12月20日(火)締切）
報 告 会：日　　時；2023年 3月10日(金)　9：30～12：30
場　　所；大阪工業大学梅田キャンパスOIT　梅田常翔ホール
（大阪市北区茶屋町1番45号）
対面およびオンライン併用（会場定員250 名）
参 加 費；会場参加：2000円(会員)/3000円(非会員) ＊会場で支払い
（資 料 代）オンライン参加（資料無し）；無料
オンライン参加（資料有り）： 2000円(会員)/3000円(非会員)
参加者数；会場　50名、オンライン　150名
報告書販売・配布冊数　370冊

2) 百石斎（田邉朔郎書斎）調査委員会（支部設立30周年記念行事）
委 員 長：岸本一蔵（近畿大学）
活動期間：2021年度～2023年度（3年間）
成果報告：2024年度（支部設立30周年になる年度）
委 員 数：17名（オブザーバー4名を含む）
委員会活動：①2022年　4月　5日（火）13：00～15：00
百石斎の赤外線カメラによる撮影　2名出席（協力者1名を含む）
②2022 年 7 月 11 日（月）13：30～16：00
木ずり壁の復旧工事　2 名出席
③2022 年 7 月 19 日（火）16：00～18：00
第 1 回百石斎調査委員会　11 名出席
2021 年 12 月に実施した詳細調査において採取した試料の分析について中間報告が行われた。
④2022 年 7 月 30 日（土）10：30～12：30
近畿大学工業専門学校都市環境コース 田中和幸准教授から文献『かはさき文庫 第二 鐵網混凝土建築物一覧』（川崎工場出版部、岡田重次著）をすべてを撮影した。
⑤2022 年 11 月 18 日（金）17：00～18：30
第 2 回百石斎調査委員会　 8 名出席

採取した試料の分析結果、2022 年度活動報告、2023 年度活動計画及び予算案など

⑥2023 年 2 月 15 日（水）13：00～15：00

第 3 回百石斎調査委員会　11 名出席

2022 年度成果の取りまとめ

活動成果：百石斎の歴史的技術的価値を明らかにするとともに、将来にわたって健全な状態で継承していくことの検討を行い、得られた成果を広く社会に公表することを目的に活動を行っている。2022年度の主な成果を以下に示す。

①百石斎の赤外線カメラによる撮影を行い、採取した試料の分析について中間報告を行った。

・力骨と鉄網の素材は異なること、引張試験において上降伏点が現れず強度の割りに伸びが低いことからAs Roll材と推定されること、腐食はほとんど進行していないことなどが確認された。

・コンクリートについては、コンクリート試料および仕上げモルタル試料を用いて、偏光顕微鏡観察、骨材のふるい分け試験、EPMA による組織観察および元素分析、粉末X 線回折試験、含水率測定、塩化物含有量試験などを行った。

②鐵網混凝土建築物の貴重な資料である『かはさき文庫　第二　鐵網混凝土建築物一覧』（川崎工場出版部、岡田重次著）のコピーを入手した。

③広報行事委員会企画による見学会「田辺朔郎の足跡を訪ねて～百石斎・琵琶湖疏水記念館・日ノ岡第11号橋を巡る～」への協力支援を行った。

活動計画：2022年度の活動で得られた成果の深度化を図るとともに取りまとめ作業を行う。具体的には、百石斎に係る文献調査、材料規格調査、百石斎詳細調査で得た試料の分析等、建物構造調査、耐震診断、利活用のあり方などの検討および取りまとめを年度を通じて行う。

(8) 他学協会等との連携

1) 「暑中コン工事対策マニュアル 2022」改定報告会（日本建築学会近畿支部（企画：材料・施工部会）、当支部後援）

開 催 日：2022 年 6 月 3 日（金）13：10～17：30

場　　所：大阪科学技術センター8 階 大ホール・中ホール（サテライト）

2) セメント・コンクリート研究の最前線（コンクリート研究会主催、当支部後援）

開 催 日：2022 年 7 月 1 日（金）

場　　所：アットビジネスセンター大阪梅田（オンライン併用開催）

3) 第 36 回コンクリート構造の設計・施工・維持管理の基本に関する研修会（土木学会関西支部主催、当支部後援）

開 催 日：2022 年 11 月 29 日（火）～11 月 30 日（水）

場　　所：ハイブリッド開催（現地：御堂会館＋オンライン）

4) セメント・コンクリート関西発表会 2022 (コンクリート研究会主催、当支部協賛)
開 催 日：2022 年 11 月 1 日（火）
場　　所：TKP 大阪御堂筋カンファレンスセンター

5) 2022 年度（令和 4 年度）見学会（コンクリート研究会主催、当支部後援）
開 催 日：2022 年 11 月 30 日（水）13：00～18：30
場　　所：①『北大阪急行線延伸工事』』（大阪府箕面市）、②『夢洲延伸線工事』（大阪市此花区夢洲 1 丁目）

6) 第 19 回圧送技術研究会（日本建築学会近畿支部・近畿生コンクリート圧送協同組合共催、当支部後援）
開 催 日：2023 年 2 月 21 日（火）
場　　所：大阪工業大学 梅田キャンパス 3 階 常翔ホール

(9) 収支決算

1) 貸借対照表

2023（令和 5）年 3 月 31 日現在

（単位：円）

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
資産		負債	
Ⅰ 流動資産		Ⅰ 流動負債	
1．現金		1．預り金	
2．普通預金	1,123,021	2．未払金	
3．当座預金			
4．定期預金			
5．未収金		資本	
6．本部預け金	6,100,000	Ⅰ 出資金	
		Ⅱ 剰余金	
		1．前期繰越損益	7,613,190
		2．当期損益	－390,169
計	7,223,021	計	7,223,021

2) 2022 年度 一般正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日				
	科　　目	当年度	前年度	増減
1.	収入の部			
（1）	事業収益			
1）	講演会等収益（見学会含む）	722,000	2,000	720,000
2）	業務援助報酬（技士・主任技士）	0	0	0
3）	業務援助報酬（診断士）	0	0	0
	事業収入計	722,000	2,000	720,000
（2）	その他収益			
1）	受入送料	0	0	0
2）	受取利息	21	44	-23
3）	懇親会参加費収益	0	0	0
4）	雑収益	0	0	0
5）	年次大会還元金	0	0	0
6）	本部よりの交付金	1,912,980	2,071,220	-158,240
	その他収益計	1,913,001	2,071,264	-158,263
	合　　計(A)	2,635,001	2,073,264	561,737
2.	支出の部			
（1）	事業費			
1）	調査研究事業費	206,175	712,742	-506,567
2）	広報事業費	461,455	311,489	149,966
3）	講演会等事業費（見学会含む）	1,036,362	112,617	923,745
4）	表彰事業費	62,656	89,805	-27,149
5）	その他費用	0	0	0
	事業費計(a)	1,766,648	1,226,653	539,995
（2）	管理費			
1）	総会費	171,790	76,120	95,670
2）	執行委員会費	39,873	9,812	30,061
3）	事務委託費	660,000	660,000	0
4）	旅費交通費	0	0	0
5）	通信費	77,940	78,810	-870
6）	消耗品費	164,995	4,173	160,822
7）	印刷費	0	0	0
8）	水道光熱費	0	0	0
9）	借室料	132,000	132,000	0
10）	手数料	11,924	10,428	1,496
11）	その他雑費	0	0	0
	管理費合計(b)	1,258,522	971,343	287,179
	経常費用合計(B=a+b)	3,025,170	2,197,996	827,174
	当期正味財産増減額(C=A-B)	-390,169	-124,732	-265,437
	正味財産期首残高(D)	7,613,190	7,737,922	-124,732
	正味財産期末残高(C+D)	7,223,021	7,613,190	-390,169

3) 監査報告書

令和5年4月21日

公益社団法人日本コンクリート工学会
会長　西山峰広　殿

内部監査報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度における会計および業務の監査を行い、適切に執行されていることを認めます。

以上

公益社団法人日本コンクリート工学会 近畿支部

検査役　長岡誠一

2.　2023 年度 事業計画および収支予算について

事　業　計　画

（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

新型コロナウイルス感染症の収束状況に応じて、支部の運営方法等についてもフレキシブルに対応する必要がある。感染症拡大防止を踏まえた支部活性化のあり方について執行委員会で議論を重ねながら、各委員会が連携をとり、会員や市民が参加可能な新たな形式での行事等を企画するなどの取り組みを進めることとする。

(1) 執行委員会

年 4 回（5 月、7 月、12 月、2 月）実施予定

(2) 顧問・幹部合同会議

11 月実施予定

(3) 支部総会

開 催 日：2023 年 5 月 19 日（金）

場　　所：エル・おおさか 南館 5 階　南ホール（オンライン（Zoom）同時開催）

(4) 支部奨励賞表彰式

開 催 日：2023 年 5 月 19 日（金）

場　　所：エル・おおさか 南館 5 階　南ホール（オンライン（Zoom）同時開催）

表彰人数：4 名

(5) 講演会およびセミナー

1) 特別講演会

開 催 日：2023 年 5 月 19 日（金）

場　　所：エル・おおさか 南館 5 階　南ホール（オンライン（Zoom）同時開催）

講演題目：「建設 DX と働き方改革」

～“つくる・つかう”から、まちに、仲間と“つなぐ”～

講 演 者：村上　陸太 氏（株式会社 竹中工務店）

2) 親子体験企画「コンクリートっておもしろい」

開 催 日：2023 年 10 月（予定）

場　　所：検討中（対面開催の予定）

内　　容：検討中

3) 会員対象見学会

開 催 日：2023 年秋（予定）

場　　所：検討中
内　　容：検討中

(6) 研究専門委員会等

1) 百石斎調査委員会（支部設立30周年記念行事）

委 員 長：岸本　一蔵（近畿大学）

活動期間：2021年度～2023年度の3年間

委 員 数：15名程度

活動計画：百石斎（田邉朔郎書斎）の歴史的技術的価値を明らかにするとともに、将来にわたって健全な状態で継承していくための検討を行い、得られた成果を支部設立30周年記念行事として広く社会に報告する。そのため、百石斎に関わる資料調査、建物を構成する材料調査や健全度評価、建築構造調査や耐震診断、歴史遺産としての利活用のあり方などについて調査を行う。

(7) 表彰事業

公募により支部奨励賞を 3 件程度選考のうえ、表彰事業を実施する。

(8) 収支予算

令和5年4月1日から令和6年3月31日				
	科　　目	当年度	前年度	増減
1.	収入の部			
（1）	事業収益			
1）	講演会等収益（見学会含む）	0	0	0
2）	業務援助報酬（技士・主任技士）	0	0	
3）	業務援助報酬（診断士）	0	0	
	事業収入計	0	0	0
（2）	その他収益			
1）	受入送料	0	0	0
2）	受取利息	0	0	0
3）	懇親会参加費収益	180,000	180,000	0
4）	雑収益	0	0	
5）	年次大会還元金	0	0	
6）	本部よりの交付金	1,792,000	1,911,220	-119,220
	その他収益計	1,972,000	2,091,220	-119,220
	合　　計(A)	1,972,000	2,091,220	-119,220
2.	支出の部			
（1）	事業費			
1）	調査研究事業費	300,000	450,000	-150,000
2）	広報事業費	1,650,000	390,000	1,260,000
3）	講演会等事業費（見学会含む）	200,000	200,000	0
4）	表彰事業費	60,000	60,000	0
5）	その他費用	0	0	0
	事業費計(a)	2,210,000	1,100,000	1,110,000
（2）	管理費			
1）	総会費	500,000	500,000	0
2）	執行委員会費	70,000	70,000	0
3）	事務委託費	792,000	660,000	132,000
4）	旅費交通費	15,000	15,000	0
5）	通信費	80,000	80,000	0
6）	消耗品費	20,000	120,000	-100,000
7）	印刷費	0	0	0
8）	水道光熱費	0	0	0
9）	借室料	132,000	132,000	0
10）	手数料	15,000	15,000	0
11）	その他雑費	0	0	0
	管理費合計(b)	1,624,000	1,592,000	32,000
	経常費用合計(B=a+b)	3,834,000	2,692,000	1,142,000
	当期正味財産増減額(C=A-B)	-1,862,000	-600,780	-1,261,220
	正味財産期首残高(D)	7,223,021	7,613,190	-390,169
	正味財産期末残高(C+D)	5,361,021	7,012,410	-1,651,389

3.　支部執行部の体制について

支部執行部 51 名のうち任期満了（2023 年 5 月末）に伴う改選の対象者 26 名（支部長 1 名、副支部長 1 名、支部幹事 4 名、支部執行委員 20 名）の他、任期途中で交代する支部執行委員 2 名、計 28 名が改選の対象になっている。

これらの改選対象者については支部幹部・顧問合同会議での議論を踏まえて支部執行部候補者推薦委員会で候補者を選定し、支部長に答申を行ったうえで支部執行委員会に諮り、次ページに示す体制とした。

(1)　支部長および副支部長

支部長候補者は建築系統から岩清水隆氏（(株)竹中工務店）を、また副支部長候補者は真田靖士氏（大阪大学大学院）を選定した。

なお、支部長および副支部長は、支部規程第 5 条の定めにより理事会での選任になっており、5 月 25 日に開催される定例理事会において選任される予定である。

(2)　支部幹事および支部執行委員

① 任期満了の支部幹事 4 名のうち 2 名を再任とし、2 名は退任とした。なお、4 名が新任として加わった。

② 任期満了の支部執行委員 20 名のうち 18 名は再任とし、2 名は退任とした。また、新任として 4 名が加わった。

③ 支部幹事 1 名が支部担当理事に、副支部長が支部幹事に、支部執行委員 1 名が副支部長に、支部執行委員 2 名が支部幹事に、支部担当理事が支部幹事となる役職替えを行った。

（参考）

顧問の退任はなく、顧問 3 名を再任し、2023 年 5 月末で退任（任期満了）となる井上晋支部長（大阪工業大）が顧問に就任となる。

<2023 年度 支部執行部体制>

役職		氏名	所属	改選後の任期		改選内容			備考
				2024.5	2025.5	再任	役職替	交代	
支部執行部	支部長	岩清水 隆	㈱竹中工務店		○		○		新任(幹事より)
	副支部長	真田 靖士	大阪大学大学院		○		○		新任(執行委員より)
	支部幹事	岸本 一蔵	近畿大学	○					
		武田 字浦	明石工業高等専門学校	○					
		谷 昌典	京都大学大学院		○	○			
		辻村 隆	(株)AIBAS	○					
		中村 士郎	住友大阪セメント㈱		○	○			
		抜木 幸次	㈱中研コンサルタント 大阪技術センター	○					
		麓 隆行	近畿大学 理工学部		○		○		新任(執行委員より)
		前田 朗	大阪兵庫生コンクリート工業組合		○		○		新任(執行委員より)
		村田 一郎	西日本旅客鉄道㈱		○		○		新任(副支部長より)
		山﨑 順二	㈱淺沼組		○		○		新任(支部担当理事より)
		山本 貴士	京都大学大学院	○					
	支部執行委員	市岡 有香子	(一財)日本建築総合試験所	○					
		上田 清	和歌山県生コンクリート工業組合		○	○			
		上田 尚史	関西大学		○				新任
		大城 壮司	西日本高速道路㈱		○	○			
		大西 俊輔	大阪ガス㈱	○					
		鎌田 敏郎	大阪大学大学院		○	○			
		川﨑 佑磨	立命館大学		○	○			
		川瀬 哲夫	太平洋セメント(株)		○	○			
		木戸 弘大	ｼﾞｪｲｱｰﾙ西日本コンサルタンツ㈱	○					
		木村 方哉	㈱大林組	○					
		熊野 知司	摂南大学	○					
		栗延 正成	大阪兵庫生コンクリート工業組合		○				新任
		齋藤 公生	鹿島建設(株)	○					
		坂田 博史	㈱建研	○					
		桜田 道博	UBE三菱セメント㈱		○	○			
		城井 優希	㈱ダイイチ		○	○			
		高森 太郎	清水建設㈱	○					
		高谷 哲	京都大学大学院	○					
		田邉 太一	大手前大学		○	○			
		友成 弘樹	㈱IHIインフラ建設	○					
		仲谷 恵美	和泉生コンクリート㈱	○					
		新名 勉	阪神高速道路(株)	○					
		橋野 哲郎	㈱ピーエス三菱		○	○			
		橋本 崇志	東洋建設㈱		○	○			
		福島 和将	ポゾリスソリューションズ㈱		○	○			
		福原 凪咲	中央復建コンサルタンツ(株)	○					
		福山 智子	立命館大学		○	○			
		藤井 伸介	(株)奥村組	○					
		藤永 隆	神戸大学大学院		○				新任
		藤原 規雄	㈱国際建設技術研究所		○	○			
		真柴 浩	大成建設(株)		○	○			
		三方 康裕	大阪工業大学	○					
		三木 朋広	神戸大学大学院	○					
		三島 剛	(株)フローリック		○	○			
		水越 睦視	神戸市立工業高等専門学校		○				新任
		水野 克彦	三井住友建設㈱	○					
		安田 慎吾	大阪広域生コンクリート協同組合		○	○			
		山田 藍	㈱竹中工務店		○	○			
		山田 宏	大阪産業大学	○					
		吉田 育央	㈱シーエスインスペクター		○	○			
	合計			23	30	20	6	0	

4.　2022 年度表彰について

総務委員会において「近畿支部奨励賞」の応募スケジュール等を検討のうえ、コンクリート工学会誌に会告を掲載して募集を行い、2022 年 12 月 20 日（火）に締め切ったところ 4 件の応募があった。その後、調査研究委員会において表彰内規および表彰細則に則り、応募資格および審査基準（独創性、萌芽性および将来性）に対する審議を行った。さらに、受賞候補の選考経過ならびに選定理由が支部執行委員会に報告され、4 件の応募者を受賞者とすることが決定した。

受賞者は以下の 4 名である（応募受付順）。

・ 加藤　猛（(株)淺沼組　技術研究所）
「若材齢時の透気試験における影響要因に関する検討」
コンクリート工学年次論文集、Vol.43、No.1、pp.1235-1240、2021

・ 権　淳日（大阪工業大学　工学部　建築学科）
「軽量鉄骨軽量コンクリート造耐力壁の耐震性能に関する実験的研究」
コンクリート工学年次論文集、Vol.43、No.2、pp.739-744、2021

・ 金　侖美（立命館大学　総合科学技術研究機構）
「導電性セメント硬化体の一軸繰返載荷によるひずみ変化と電気的応答特性」
コンクリート工学年次論文集、Vol.44、No.1、pp.1306-1311、2022

・ 青坂　優志（関西電力(株)　再生可能エネルギー事業本部　開発グループ）
「Study on Application of Class C Fly Ash for RCC dam in Nam Ngiep 1 Hydropower Project in Lao PDR」
Journal of Advanced Concrete Technology, Vol. 20, pp.30-42, January 2022

5.　業務委託契約更新について

令和５年３月24日

一般社団法人
プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部
支部長　藤原博之　様

公益社団法人
日本コンクリート工学会近畿支部
支部長　井上　晋

業務委託契約解除通知書

貴協会関西支部より申し出のありました業務委託契約書第３条第１項に示す業務の委託料の変更について検討を行いました結果、お受け致しますので、貴協会関西支部と当学会近畿支部との間で令和３年４月30日に締結をしました業務委託契約書（以下、「原契約」という）を下記のとおり契約解除することを通知します。

記

１．業務委託契約解除日について
　令和５年３月31日をもって原契約を解除する。
　（原契約期間　令和３年６月１日～令和５年５月31日）

２．業務委託契約解除事由について
　第３条第１項および第９条を変更するため。

３．その他
　業務委託契約解除後に第３条第１項および第９条を変更した新たな業務委託契約書を締結することを考えている。

以上

業務委託契約書

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部（以下、「甲」という。）と一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部（以下、「乙」という。）とは、次の通り業務委託契約を締結する。

第１条（委託業務の内容）

甲は、近畿支部の運営に関する以下の業務（以下、「本件業務」という。）を乙に委託し、乙はこれを受託する。

（１） 支部総会、執行委員会、幹事会、顧問会の開催に関する諸業務（会場の選定・設営、資料の印刷・発送、委嘱状の作成、交通費の支払い事務等を含む。）

（２） 研究委員会、講演会、講習会、見学会等の研究・技術に関連する行事の開催に関する諸業務（会場の選定・設営、資料の印刷・発送、交通費の支払い事務等を含む。）

（３） 支部月次会計報告、会計管理のための準備及び補助業務

（４） 決算報告書、収支予算書及び関連書類の作成のための準備及び補助業務

（５） その他、甲乙双方協議の上、合意した業務

２ 甲は、本件業務の遂行に際し必要があるときは、乙に対し、本件業務の進捗状況などについて報告を求めることができる。

第２条（善管注意義務）

乙は、本件業務を甲の指示に従い善良な管理者の注意をもって行うものとする。

第３条（業務の委託料等）

甲は乙に対し、第１条業務委託料及び事務所等使用料、事務所等使用に伴う水光熱費等の合計額として月額７０，０００円（消費税を別途加算する）を支払うものとする。

２ 業務委託料は、４月１日から９月末日までの期間の委託分を１０月末日までに、また１０月１日～３月末日までの期間の委託分を４月末日までに、乙の指定する銀行口座に振込んで支払う。

ただし、コピー代金については、別途定めた金額を上記委託料等の支払のときに、上記金額に加算して支払う。

３ 乙が本件業務の遂行にあたり前項の委託料を超える特別の経費を要した場合、事前に甲の承諾を得たときに限り、甲は乙に対し、承諾した範囲の費用を支払うものとする。

第４条（業務の実施）

乙は、自らの責に帰さない事由又は正当な事由により、本契約上の業務の遂行を合意された期間中に完了できないことが判明した場合、直ちに甲にその事由を付して通知し、甲の指示に従わなければならない。また、乙は、正当な事由なく甲の承認を受けずに本契約上の業務を中止することはできない。

第５条（秘密保持）

甲及び乙が本件業務を実施するに当たり知り得た相手方の業務に関する秘密事項は、この契約の有効期限内はもちろん、契約期間終了後も第三者に漏らしてはならない。甲又は乙がこれに違反したことにより相手方が損害を被った場合には、相手方に対し全損害を賠償しなければならない。

第６条（著作権の帰属）
本件業務に係わる著作権は、甲に帰属するものとする。ただし、乙が従前から有していた既存の著作権を利用しているものについては、乙に帰属するものとし、乙は甲に対し無償で利用を許諾するものとする。

第７条（第三者の権利侵害）
乙は、本件業務の遂行過程において甲に提供する業務関連資料が第三者の著作権、肖像権、特許権、及びその他一切の権利を侵害していないことを保証する。

第８条（契約解除）
甲又は乙は、相手方が次の各号の一つに該当したときは、何らの通知催告を要せず、直ちに本契約を解除することができるものとする。
なお、この解除は損害賠償の請求を妨げない。
（1） 本契約に違反したとき
（2） 手形、小切手を不渡りにする等支払停止の状態に陥ったとき
（3） 仮差押え、差押え、仮処分、競売等の申立てを受けたとき
（4） 破産、民事再生、解散等の手続の申立てを受けたとき又は自ら申立てをしたとき
（5） その他各号に類する不信用な事実があるとき

第９条（契約期間）
本契約の有効期間は、令和５年４月１日から令和７年３月３１日までとする。
ただし、期間満了前に両者で協議して合意した条件で本契約を更新することができるものとする。

第１０条（紛争解決）
本契約に規定なき事項又は契約上の疑義については、両当事者間で誠意をもって協議し、解決するものとする。

以上、本契約締結の証として本書２通を作成し、甲乙各１通を保有する。

令和５年３月 24 日

甲　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号
一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部内

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部
支部長　井 上　晋

乙　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号

一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部
支部長　藤 原　博 之

確 認 書

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部（以下、「甲」という。）と一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部（以下、「乙」という。）とは、業務委託契約書締結に際し、相互信頼に基づき次の通り確認する。

第１条（業務の委託料等）

甲が実施する支部活動業務及び甲が委託する運営業務を、それぞれ円滑に遂行するために、甲は乙の了解を得た上で、乙の管理する会議室及び事務機器（机、椅子、コピー機、ＦＡＸ等）を使用できるものとする。これらの使用料は、業務委託契約書第３条に定める委託料等の合計額に含まれるものとする。

２ 業務委託契約書第３条に定めるコピー代金は、コピー用紙およびトナーの実費相当額とする。

ただし、甲がコピー用紙およびトナーを購入の上、持ち込んだ場合は、コピー代金は業務委託契約書第３条に定める委託料の合計額に含まれるものとする。

令和５年３月 24 日

甲　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号
一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部内

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部
支部長　井 上　晋

乙　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号

一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部
支部長　藤 原　博 之

6.　支部会員数の推移について

年　度	個人会員			団体会員						備　考
	正	学生	合計	第Ⅰ種	第2種				合計	
					1級	2級	3級	4級		
2001(H13)			996						41	近畿支部の記録
2002(H14)			994						51	
2003(H15)			992						36	
2004(H16)										
2005(H17)										
2006(H18)										
2007(H19)										
2008(H20)										
2009(H21)										
2010(H22)			895						36	
2011(H23)	789	22	811	5	0	0	4	27	36	本部照会
2012(H24)	739	38	777	5	0	0	3	30	38	
2013(H25)	710	35	745	5	0	0	3	32	40	
2014(H26)	686	51	737	4	0	0	3	35	42	
2015(H27)	676	47	723	4	0	0	3	36	43	
2016(H28)	711	26	737	5	0	0	3	36	44	
2017(H29)	723	38	761	5	0	0	3	36	44	
2018(H30)	701	51	752	4	0	0	3	39	46	
2019(R1)	724	22	746	4	0	0	3	38	45	
2020(R2)	712	14	726	4	0	0	3	37	44	
2021(R3)	699	17	716	4	0	0	3	39	46	
2022(R4)	675	27	702	5	0	0	3	38	46	

※2011（H23）年度から 2022（R4）年度は、各年度末現在の会員数を示す

7. 本部からの報告について

令和 4(2022)年 5 月以降、令和 5(2023)年 3 月末までの 9 回の定例理事会は、前年度に引き続き、新型コロナウィルス感染拡大防止対策として全て Zoom を使用した Web 会議にて開催された。

本部理事会における決議および報告の内容詳細については、理事会における守秘義務順守に配慮し、主として議事項目のみを以下に列記する。

(1) 5 月定例理事会（令和 4 年 5 月 24 日）

・業務執行理事等職務執行状況、支部執行体制（全支部）、診断士講習会申込者数、海外出張案件、支部交付金、出版物販売実績、会員からの資料の各項目について報告があった。

・令和 3 年度事業、令和 3 年度計算書類等、助成金制度（前期）採択者、定時社員総会招集、事務所賃貸借契約の更新、fib ナショナルレポート作成 TG の設置、規程類の改正、の各項目について決議した。

(2) 6 月定例理事会（令和 4 年 6 月 15 日）

・第 55 回定時社員総会の委任状の代理人選定、ホームページリニューアル延長、経産省・委託事業（受託研究）、の各項目について報告があった。

・役員賠償責任保険の更新、専務理事の報酬、選挙管理委員会新任委員の選出、カーボンリサイクル受託（実験外注契約書）、委員会・委員の異動、の各項目について決議した。

(3) 6 月臨時理事会（令和 4 年 6 月 15 日）

・令和 4 年度役付理事（会長、副会長 2 名、専務理事）の選定、令和 4 年度会長に事故があるときの職務代行に当たる副会長の順序の決定、令和 4 年度理事の職務の分担の決定、の各項目について決議した。

・令和 4 年度定例理事会開催日程、会員対応について報告があった。

(4) 7 月定例理事会（令和 4 年 7 月 22 日）

・令和 4 年 4 月～令和 4 年 5 月会計、業務執行理事等職務執行状況、代議員の繰上げ、技士・主任技士研修受講申込者数、診断士受験申込者数、の各項目について報告があった。

・令和 4 年度理事の職務の分担、令和 4 年度会計監査報酬、「コンクリート圧送工法指針 2022」原案、理事と本学会間の取引、2024 年度コンクリート診断士講習（e ラーニング契約の更新）、規程類の改正、会誌会告、出版物の頒価、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。

(5) 8 月定例理事会（令和 4 年 8 月 31 日）

・令和 4 年 4 月～7 月会計、業務執行理事等職務執行状況、支部執行委員の異動（四国支部）、理事と本学会間の取引、の各項目について報告があった。

・2022 年度コンクリート診断士合格者、選挙区別代議員定数、年次大会 2023（九州）予算（草案）、規程類の改正、会誌会告、出版物の頒価、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。

(6) 10 月定例理事会（令和 4 年 10 月 31 日）

・令和 4 年 4 月～9 月会計、業務執行理事等職務執行状況、海外出張案件、名誉会員の推薦、コンクリート技士・主任技士研修受講者数、資格試験問題集等（電子版）の著作権使用許諾、ホームページリニューアル（新ホームページ公開）、の各項目について報告があった。

・令和 5 年度（2023 年度）割付予算案、令和 4 年度補正予算、令和 5 年度（2023 年度）役員改選数、理事と本学会間の取引、規程類の改正および廃止の各項目について決議した。

(7) 12 月定例理事会（令和 4 年 12 月 22 日）

・令和 4 年 4 月～令和 4 年 11 月会計、業務執行理事等職務執行状況、代議員選挙の結果、支部執行委員の異動、年次大会 2022（千葉）収支、コンクリート技士・主任技士試験受験者数、2023 年度コンクリート診断士講習および試験のご案内、の各項目について報告があった。

・2022 年度コンクリート技士・主任技士試験合格者、名誉会員、終身会員及びフェロー会員、助成金制度採択者、令和 4 年度補正予算、技術委員会所管委員会の延長申請、普及委員会所管の常置委員会設置申請、理事会と本学間の取引、規程類の制定および改正、出版物の頒価、会誌会告、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。

(8) 2 月定例理事会（令和 5 年 2 月 27 日）

・令和 4 年 4 月～令和 5 年 1 月会計、業務執行理事等職務執行状況、理事と本学会間の取引、コンクリート診断士研修受講者数、の各項目について報告があった。

・2023、2024 年度役員候補者、役員改選数の追加、研究委員会（研究専門委員会新規課題）、ACT 編集業務委託（2023 年度の契約）、学会賞受賞候補、コンクリート工学年次大会（千葉）還元金利用計画、コンクリート工学年次大会（九州）実行計画、資格審査会、資格試験受験料の変更、fib Congress 2030 開催の提案、National Report of Japan on Structural Concrete（2022 の共同出版に関する覚書）、理事と本学会間の取引（National Report 査読料）、規程類の改正、会誌会告、出版物の頒価、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。

(9) 3 月定例理事会（令和 4 年 3 月 29 日）

・令和 4 年 4 月～令和 5 年 2 月会計、業務執行理事等職務執行状況、支部執行委員の異動、海外出張案件、資格登録者の推移、コンクリート診断士講習受講者数、の各項目に

ついて報告があった。

・令和 5 年度役員候補者（追加）、令和 5 年度事業計画、令和 5 年度収支予算、会員管理システム更新等積立預金の一部取崩し、JCI 創立 60 周年事業準備委員会および実行委員会設置、支部執行部体制、検査役および出納管理者、理事と本学会間の取引（会誌レビュー論文原稿の査読料）、規程類の制定および改正、棚卸資産（出版物）の除却、会誌会告、出版物の頒価、委員会・委員の異動、会員入退会、の各項目について決議した。

以上